「毎7日間に1日はグスルをし、頭と体を洗うのが、全ムスリムの義務である。」

アブー・フライラ（アッラーのご満悦あれ）によれば、アッラーの使徒（アッラーからの祝福と平安あれ）は、こう言った： 「毎7日間に1日はグスルをし、頭と体
を洗うのが、全ムスリムの義務である。」
[صحيح] [متفق عليه]

アッラーの使徒（アッラーからの祝福と平安あれ）は言っている:毎7日間に1日、つまり週1回は清潔さと清めのためにグスルをし、頭と体を洗うのが、正常な理性を備えた全成人ムスリムに対する、強調された義務である。そしてそれらの日々で最も優先されるのが金曜日であるということが、他のいくつかの伝承から理解されることである。たとえ木曜日にグスルしていたとしても、金曜日の合同のサラー前に行うグスルは強調されたスンナなのである。それが義務ではないことは、アーイシャ（アッラーのご満悦あれ）の次の伝承でも、明白である：「人々は労働していたものであり、金曜のサラーに行く時には、そのままの格好で行ったものだった。それで彼らに、こう言われたのだ：”グスルをしてきたら良かったのに。”」（アル＝ブハーリーの伝承）別の伝承には、こうある：「彼らからは臭いが漂っていた。」つまり汗などの臭いのことである。それにも関わらず、彼らに言われたのは「グスルをしてきたら良かったのに」という言葉だった。彼らのような状態にはなかった者たちにとって、それがより優先されるわけではないことは、明らかである。

http://www.sunnah.global/hadeeth/ja/show/65084